2005年8月2日

国内最大規模の木質系バイオマス専焼オンサイト発電事業について

中国木材株式会社（本社：広島県呉市、社長：堀川　保幸）と三菱商事は、現在中国木材が鹿島臨海工業地帯に建設中の関東工場（所在地：茨城県鹿島郡神栖町）において、同工場の製材の過程で発生する木質系バイオマス（木材樹皮、鋸粉（オガ）等を燃料とする国内最大規模の木質系バイオマス専焼オンサイト発電事業を共同で行う事を合意致しました。

今回行う木質系バイオマス専焼オンサイト発電事業の概要は以下の通りです。

1．中国木材、当社がそれぞれ50%出資する「神之池（ごうのいけ）バイオエネルギー株式会社（以下「神之池バイオ」という）」を設立（2005年7月11日設立）。
2．神之池バイオは、23,000kWの木質系バイオマス専焼発電所を建設、2008年7月より営業運転を開始予定。
3．神之池バイオが使用する燃料の全量を、関東工場の製材過程で発生する木質系バイオマ（木材樹皮、鋸粉等）で賄い、関東工場が必要とする電力及び木材の乾燥に使用する蒸気の全量を供給。
4．RPS法（電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法）の設備認定を受けることで、関東工場が使用しきれない余剰電力を新エネルギー起源の電力として電気事業者に販売。

中国木材は、関東工場を東日本の生産拠点と位置付けており、米国から輸入する米松原木及び国産杉材を製材・乾燥加工し、物流センターを通じて製品販売を行い、バイオマス発電設備から電力・蒸気の供給を受けることで環境負荷を低減すると共に、コスト削減を同時に達成する事を目指します。

当社は、「オンサイト発電事業」を戦略分野と位置付け、ユーティリティー（電力・蒸気）調達のアウトソーシングを目的とし、SPC（オンサイト発電事業会社）を顧客毎に設立する形で、今後も更なる事業拡大を目指します。

計画中の発電所の出力は、23,000kW　でバイオマス専焼の発電所としては国内最大規模の発電所となります。

本事業の特長は、次の通りです。

1．従来の大型バイオマス発電とは異なり、木質系バイオマスの発生場所で消費する事で、木質

系バイオマス収集時に使用するトラック等車両の CO2 が一切発生しない事。

2.「カーボンニュートラル」という性質を有する木質系バイオマスの専焼プラントである事から、中国木材関東工場の必要とする電力・蒸気及び電気事業者に販売する余剰電力は、CO2 を全く発生しない木質系バイオマス起源のエネルギーである事。

今回の発電事業により、温室効果ガスである二酸化炭素の排出量削減効果は、化石燃料の効果として、工場内の電力需要と蒸気需要分として原油換算で 20,000 ｷﾛﾘｯﾄﾙ／年相当、余剰電力分として原油換算で 18,000 ｷﾛﾘｯﾄﾙ／年相当、合計で 38,000 ｷﾛﾘｯﾄﾙ／年相当の一次エネルギー使用量の削減が達成される見込みです。

＜中国木材株式会社の概要＞

本社所在地	：広島県呉市広多賀谷 3 丁目 1-1
代表取締役社長	：堀川保幸
業種	：木材の製材・加工業及び製品の販売等
資本金	：100 百万円（2004 年 6 月末現在）
総資産	：60,207 百万円（同上）
売上高	：58,128 百万円（2004 年 6 月期）
経常利益	：4,262 百万円（同上）
従業員数	：1,425 名

以　上